

令和7年度【北海道】特別教員臨時中央審査会 実施要項

審査申込書および学科解答用紙

第一地区締切日 令和7年5月27日（火）

tokyo-1@kyudo.jp

第一地区事務局 永松

郵便振替 00150-5-316111 東京第一弓連

1. 主 催 公益財団法人全日本弓道連盟
 2. 主 管 北海道弓道連盟
 3. 期 日 令和7年8月13日（水）
 4. 会 場 北海道立総合体育センター

〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平5条1丁目1番1号

TEL：011-820-1703

札幌市地下鉄東豊線「豊平公園駅」から徒歩約5分。

札幌市営地下鉄東豊線「さっぽろ駅」よりタクシー利用で約10分。

5. 審査種別 初段・弐段・参段・四段・五段・六段・錬士

6. 受審資格 現在、学校及び教育委員会に在籍する教職員で、次の事項に該当する者。

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教職員。
非常勤講師は年間任用者で授業を担当している者。
常勤の事務職員は受審できない。
- (2) 大学及び高等専門学校の在籍は、教授、准教授、助教、助手及び講師で常勤している者。
常勤の事務職員は受審できない。
- (3) 教育委員会の在籍は、教員身分の指導主事及び指導員で常勤している者。
- (4) 第56回全日本教職員弓道選手権大会に参加予定の者。
- (5) 弐段 令和7年3月13日までの初段合格者
参段 令和7年3月13日までの弐段合格者
四段 令和7年3月13日までの参段合格者
五段 令和7年3月13日までの四段合格者
六段 令和6年8月13日までの五段合格者
錬士 令和6年8月13日までの五段合格者

※第一次審査通過者の取扱いについては、「令和7年度中央審査会受審にあたって」

5. 申込手続き（4）を参照のこと。

7. 学科試験 ・学科試験に代わり、課題のレポート提出とする。
 ・レポートは自筆で、指定様式(A4版)1枚にまとめ、審査申込書とともに提出のこと。
 ・レポートには必ず課題を記入の上、解答すること。
 ・レポートの受審番号・採点欄は空欄のままとして提出のこと。

【レポート課題】

- 初段 1. 「執弓の姿勢」について説明しなさい。
 2. あなたは危険防止のためにどんなことに注意していますか。
 弐段 1. 基本の姿勢（4つ）を列記し、簡単に説明しなさい。
 2. あなたが審査を受ける目的について述べなさい。
 参段 1. 「三重十文字」の重要性について述べなさい。
 2. あなたが日々の修練で心がけていることを述べなさい。
 四段 1. 「詰合い・伸合い」について述べなさい。
 2. 「射法訓」の教えの要点について述べなさい。
 五段 1. 「五胴」について述べなさい。
 2. 弓道の最高目標について述べなさい。
 六段 1. 会の要件を列挙し、その重要性について述べなさい。
 2. 残身（心）は射の総決算と云われるのは何故か述べなさい。
 錬士 1. 押引一如の原理について述べなさい。
 2. 日常生活において基本体を活かせる事例を述べなさい。

7. 締 切 日 令和7年6月6日（金）都連必着

9. そ の 他 本連盟ホームページに掲載の「審査規程」及び「令和7年度中央審査会受審にあたって」を確認すること。

以上